

ジヨーデイ

- 1 北の国で戦いがありました
貴族がたくさんおりました
チャーリー・ヘイ卿が殺され
ジヨーデイは罪を着せられました
- 2 ジヨーデイは長い手紙を書きました
愛する妻に送りました
「エディンバラへ来ておくれ
僕の言葉を聞いておくれ」
- 3 ジヨーデイの手紙がついたとき
妻の頬はばらのように赤らみました
しかし二言も読まぬ間に
ゆりのように白くなりました
- 4 「わたしの白馬を連れてきて
侍女も皆ついてきて
エディンバラにつくまでは
飲みも食べもいたしません」
- 5 奥方は白馬にまたがりました
それに首を切る斧でした
エディンバラにつくまでは
飲みも食べもしませんでした
- 6 最初に目に入ったのは断頭台
侍女も一緒にゆきました
エディンバラにつくまでは
飲みも食べもしませんでした
- 7 ジヨーデイは階段をおりてきました
鉄の鎖で縛られていました
- 8 奥方はひざまずきました
青ざめて弱々しく見えました
「どうぞ慈悲を 気高い王様
わたしの夫を返してください
- 9 「七人の子を産みました

末の子は父の顔を知りません
どうぞお慈悲を 気高い王様
哀れな女をお助けください

10 「首切り人を急がせよ」
王様は横柄にいいました

「王様 すべてのものを差し上げます
ジョーデイだけは返してください」

11 ゴードン一族がかけつけました
いずれ劣らぬ強者揃い

一族の合言葉は

「ゴードン一族いざゆくぞ」

12 王の右手の老伯爵がいいました

「気高い王様 お聞きください
奥方に五千ポンドを払わせて

夫は返しておやりなさい」

13 マルクとクラウン

たくさんのドルで

五千ポンドを払いました

奥方は夫を取り戻しました

14 夫を見ていました

「ジョーデイ あなたを買い戻したわ

血だらけの死体が山となり

あなたを失うところでした」

15 ジョーデイはほつそりとした腰を抱きました

ばらの唇に接吻しました

「女の中で一番美しい花
わたしの愛する美しい妻」